

学校給食研究会栄養士部会双葉支部 研修会紹介

ワールドカフェ方式による話し合い

実施日:令和6年9月3日(火)

実施場所:大熊町立学び舎ゆめの森

テーマ「双葉郡における個別指導や保護者との連携の方法を探ろう！」

1 実施目的

各校の個別指導や保護者との連携に関する取り組みや課題を共有し、問題解決の糸口を探る。

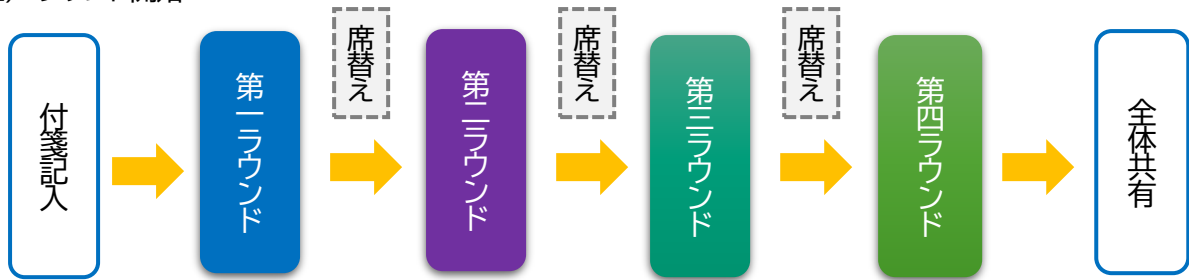
2 実施の流れ

(1) ワールドカフェについての説明



|                 |   |
|-----------------|---|
| ① ワールドカフェとは     | ・カフェのようなリラックスした雰囲気の中で相互理解を深めながら、全員の意見や知識を集め自由に対話する手法  |
| ② ワールドカフェの目的    | ・全員が自由に発言して交流し、お互いに理解を深める。<br>・さまざまな意見、新しいアイデアを集める。<br>・相互理解を深め、メンバーの信頼関係を構築する。   |
| ③ ワールドカフェの効果    | ・リラックスした場が演出されるため、自由な雰囲気での自分の意見を伝えやすい。<br>・グループで実際に対話するのは少人数でも、メンバーが入れ替わることで、参加者全員と意見を共有できる効果を得られ、対話を重ねることで、メンバーには一体感が生まれる。 |
| ④ ワールドカフェのデメリット | ・話し合いの結論を出すことを求められていないため、何らかの結論を導き出したい場合や、早急に解決策を出さなければならない会議などには向いていない。  |
| ⑤ カフェエチケット      | ・議論ではなく、対話を楽しむ。<br>・知識よりも、体験をもとに話す。<br>・意見を否定しないで受け入れ、質問をして対話を広げる。<br>・テーマを意識する。  |
| ⑥ ラウンド内での進め方    | ・トーキング・オブジェクトを使用する。<br>・模造紙には、話し合いの中で出た思いや考え、アイデアや疑問などを書いてまとめる。カラーペンで文字だけでなく絵や矢印なども記入し、アイデアを自由に書き込む。                        |
| ⑦ 全体で意見を共有      | ・すべての段階が終了したら、各グループが出した意見やアイデア、感じたことや考えたこと、メンバー全員に伝えたい気持ちなどを全体で共有する。  |

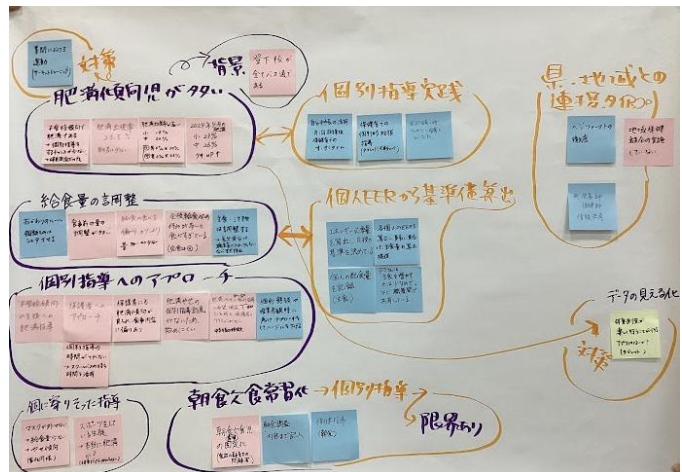
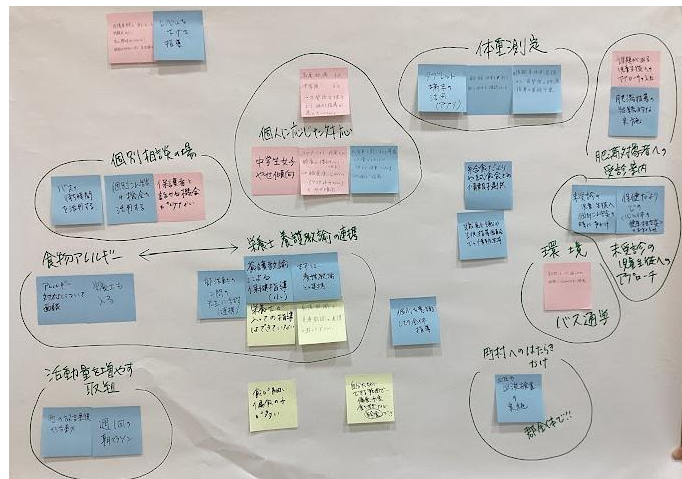
## (2) ラウンド開始



- ・参加者:13名、4グループ作成(1グループ3~4人)
- ・1ラウンド20分 4ラウンド実施
- ・事前に、テーマに対する自校の課題、実践、その他意見を付箋紙に記入する。  
課題→赤付箋 実践→青付箋 その他→黄付箋
- ・2ラウンド以降は、1名ホストを残して席替えをし、ホストは前ラウンドでの話し合いの内容を伝える。
- ・自己紹介などを交えながら、テーマに対する意見、自校の現状などを伝える。
- ・他人の意見に対してよいアドバイスがあれば伝える。

## 4 指導助言

## 5 当日の様子・意見をまとめた模造紙



## 6 ワールドカフェを実施しての感想

ワールドカフェは少人数で話し合うため、相手のとの距離が近く、リラックスした雰囲気の中で話ができるため、自分の意見を率直かつ自由に伝えられることを実感した。

全体共有の前に、最初のグループに戻り話し合った内容を共有することで、より意見を深めることができるとともに、新たな気付きやメンバー内の相互理解にも繋がった。